

A n g e l
V o i c e s
T o u r
2 0 1 8
“ b e y o n d ”

LIBERA



LIBERA

Angel Voices Tour 2018

“beyond”

企画・制作・招聘：IKAJI KOHO

協力：Libera Records

ウィステリアプロジェクト

カルチュア・エンタテインメント

ローランド株式会社

リベラは“こどもホスピスプロジェクト”を応援しています。

協賛：ウチダエスコ株式会社

これからのがん医療を考える患者の会



リベラ

ロンドンを拠点とするヴォーカル・グループ「リベラ」に所属しているのは、「どこにでもいる普通の」少年たちである。しかし、そのレコーディングや演奏が示しているとおり、リベラが聴かせる音楽は唯一無二である。

日本の聴衆のあいだでよく知られ、2005年の初来日公演以来、幾度もこの国を訪れている。日本人作曲家たちとのコラボレーションも行いながら、コンサートの開催はもとより、テレビ・ラジオ出演、映画やドラマなどのサウンドトラックへの参加など、幅広い活動を展開してきた。

リベラのメンバーたちは、伝統的かつモダンな、この上なく独特なサウンドをつくり出す。彼らが舞台上で身に着ける、お馴染みのゆったりとした白い衣服は、リベラの音楽スタイルの由緒あるルーツを象徴している。しかし彼らがつむぐ音楽は、幾つもの世代を惹きつけており、現代の若い音楽ファンたちのもとにも届いている。また、世界中のアルバム・チャートでのリベラの華々しい成功は、この他に類を見ない「ボーイズ・ユニット」がもつ絶大な魅力を物語っている。海外ツアーを重ね、世界各地の聴衆を魅了してやまないリベラは、イギリスだけでなく、北アメリカ、フィリピン、シンガポール、中国、韓国など、数多くの国で熱狂的なファンに支えられている。

リベラのメンバーは、多様なバックグラウンドをもつ7歳から16歳までの少年たちで、イギリスのサウス・ロンドンにあるさまざまな学校に通っている。その歌声は、もはや既存の枠組みには分類不可能な個性を誇るが、彼らが聴かせる光り輝く神秘的な和音、天上的なハーモニー、そして並外れて広い声楽表現の幅が、彼らのサウンドを比類のないものにしている。

P

R

O

Libera

The boys who make up the London-based vocal group Libera have been described as “normal” and “ordinary”. However, as their recordings and performances demonstrate, the music they produce is anything but.

Well known to Japanese audiences, the boys have visited the country many times since 2005, and made appearances on television and radio and on soundtracks, sometimes collaborating with Japanese composers.

The boys have a stunningly original sound, which is at once both ancient and modern. Their distinctive flowing white robes symbolise the traditional origins of their style - yet their music reaches across the generations to a new mainstream audience. Libera's success in album charts around the world bears witness to the extraordinary appeal of this unique ‘boy band’. Enchanting audiences wherever they go, they have attracted an enthusiastic fan base in many other countries, particularly North America, the UK, the Philippines, Singapore, China and South Korea.

The singers of Libera are aged seven to sixteen. They attend many different schools in South London and come from a variety of backgrounds. Their unique sound may be impossible to pigeonhole, but with their shimmering mystical chords, ecstatic harmonies and extraordinary vocal ranges, they are unique.



TOKYO

東京公演

10/21(日) 17:00

Sunday, October 21, 2018 at 5 p.m.

10/22(月) 19:00

新宿文化センター 大ホール

Monday, October 22, 2018 at 7 p.m.

Shinjuku Culture Center, Tokyo

主催：KAJIMOTO

後援：TOKYO FM

NAGOYA

名古屋公演

10/24(水) 19:00

Zepp Nagoya

Wednesday, October 24, 2018 at 7 p.m.

Zepp Nagoya

主催：KAJIMOTO

サンデーフォークプロモーション

後援：ZIP-FM

OSAKA

大阪公演

10/26(金) 19:00

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

Friday, October 26, 2018 at 7 p.m.

Osaka International Convention Center

主催：KAJIMOTO

後援：FM802

《その他イベント》

LIBERA Spooky Halloween Party
Supported by Glico LIBERA

10/25(木)19:00

大阪市中央公会堂 中集会室

Thursday, October 25, 2018 at 7 p.m.

Osaka City Central Public Hall

主催：KAJIMOTO、ウィステリアプロジェクト

カルチュア・エンタテインメント

特別協賛：江崎グリコ株式会社

協力：ソニー・ミュージックマーケティング



THE DULE



P

R

O

Angel Voices Tour 2018

“beyond”

Joyful Joyful

ジョイフル・ジョイフル

The Prayer

祈り

Ave Maria

アヴェ・マリア (カッチーニ)

Stay with Me

ステイ・ウィズ・ミー

Ave Maria

アヴェ・マリア (プライズマン)

Amazing Grace

アメイジング・グレイス

In Paradisum

樂園にて

For the Future

明日へ～for the future

Voca Me

ヴォーカ・メ



G R A M

Orinoco Flow

オリノコ・フロウ

I am the Day

生まれくる日

From a Distance

フロム・ア・ディスタンス

Wayfaring Stranger

さすらいの旅人

Angel

天使のくれた奇跡

Sanctus

サンクトゥス (パッヘルベルのカノン)

Salva Me

サルヴァ・メ

Eternal Light

エターナル・ライト

Libera

リベラ





皆さん、こんにちは！ リベラのコンサートへようこそ

ふたたび日本を訪れることを、リベラー同、大変喜んでいます。私たちをとびきり温かくお迎えくださる沢山のファンの方々に囲まれ、かつてリベラの初の海外公演が実現した国で自分たちの音楽を奏でることができるからです。そしていつも日本では、アットホームな雰囲気を感じながら演奏することができます。

今回のツアーでは、新譜『Beyond』から数曲を披露します。そしてリベラ初の試みとして、なんと1曲—— 亀田誠治さんが私たちのために書いてくださった《明日へ～for the future》—— 丸々、日本語で歌います！メンバーたちが発音する日本語の詞が、会場の皆さんに伝わりますように！もちろん、これまでリベラが歌い続けてきた、おなじみの歌もお届けします。多くは新しいアレンジでお聴きいただくことになりますし、〈天使のくれた奇跡 (Angel)〉や〈エターナル・ライト〉など、私たちが日本のために録音した曲も取り上げる所存です。

ツアーではつねづね、できるだけ多くのメンバーを日本に連れて行けるよう努めています。しかし、ファンの皆さんが会いたいと望んでいらっしゃる全てのメンバーを連れて行くことはなかなか叶わず、今回、何人かの最年長・最年少のメンバーは来日いたしません。いっぽう、初めて来日する若いメンバーたちもいます。たとえば9歳のダニエルは、幾つかの歌で中心的な役割を演じます。またコウジは、家族とともにずっとロンドンに住んでいますが、舞台上で通訳をする姿をご覧になれば、彼が日本人であることにお気づきになるでしょう。

私たちがもっとも“やりがい”を感じるのは、リベラの音楽が聴衆の皆さんにインスピレーションをもたらしていると実感するときです—— 聴き手が心穏やかになり、あるいはスピリチュアルな何かを感じ取ってくださることこそ、私たちの達成感の源なのです。音楽に並々ならぬ敬意を表し、惜しみない長大な拍手による励ましで私たちの演奏にお応えくださる日本の聴衆の皆さんの存在を、リベラー同、光栄に思っています。会場にて、多くの方々に直にお目にかかれるのを心待ちにしております。リベラに導かれた皆さんが、あらゆる境界を越え=“beyond”、コンサートを心行くまでお楽しみくださることを願っています。

LIBERAミュージック・ディレクター
ロバート・プライズマン



Hallo Everyone.

Welcome to our Libera concert!

We are so happy to be back in Japan once again - to see and meet our many fans who welcome us so warmly and to perform our music in the country where the story of our international touring began. We truly feel at home when we perform in Japan.

We bring this year some of the music from our new album 'Beyond' and for the first time we sing a song entirely in Japanese! - 'For the Future' - especially written for us by Seiji Kameda. We hope that you understand our pronunciation! We shall also perform familiar Libera music, much of it in new arrangements and including some of the songs we have recorded for Japan in the past, like 'Angel' and 'Eternal Light'.

We like to bring as many Libera boys as possible when we tour, we are not able to bring all those we would like our fans to meet. So several of our youngest and oldest boys are not with us. But some junior boys are coming to Japan for the very first time - 9-year-old Daniel, for instance, who takes a leading role in a couple of the songs. Also, amongst the young boys is Koji who has actually lived with his family in London all his life, but as you will hear when he translates for us, is actually Japanese.

It is most rewarding for us to know that our music is inspiring to our audiences - perhaps that it is calming or spiritual. We are honoured by our audiences in Japan who show such respect for the music and respond with such encouragement in the generosity and length of their applause. We look forward to meeting many of you in person, and hope that you will enjoy our concert as we take you 'beyond'.

Music Director
Robert Preizeman

M E M B





ERS

Leo Barron

リオ・バロン

Nathaniel Bates Fisher

ナサニエル・ベイツ・フィッシャー

Emanuele Borrelli

エマヌエーレ・ボッレリ

Merlin Brouwer

マーリン・ブラウワー

Benedict Bywater

ベネディクト・バイウォーター

Dominik Clarke

ドミニク・クラーク

Samuel-Francis Collins

サミュエル・フランシス・コリンズ

Joseph Cranitch

ジョゼフ・クラニッチ

Tadhg Fitzgerald

タイグ・フィッツジェラルド

Johnny Gardner

ジョニー・ガードナー

Alexander Gula

アレクサンダー・グーラ

Peter Kielty

ピーター・キールティ

Alexandre Menuet

アレクサンドル・メヌエット

Alexander Montoro

アレクサンダー・モントーロ

Mathias Montoro

マティアス・モントーロ

Oliver Mycka

オリヴァー・マイカ

Neo Parson

ニオ・パーソン

Koji Shinokubo

忍久保 洸司

Camden Stewart

カムデン・スチュワート

Laurence Taylor

ローレンス・テイラー

Rocco Tesei

ロッコ・テサイ

Romeo Tesei

ロメオ・テサイ

Oliver Watt-Rodriguez

オリヴァー・ワット・ロドリゲス

Benjamin Wevill

ベンジャミン・ウィーヴィル

Daniel White

ダニエル・ホワイト

Victor Wiggan

ヴィクター・ウィッギン

Q & A

メンバー編



2018年9月に
twitter、Instagramで
募集した質問にリベラっ子たちが
答えてくれました！

#リベラっ子への 質問！



- AMen — アレクサンドル・メヌエット
- GC ——— ゲイブリエル・コリンズ
- TS ——— 忍久保 太一
- RT ——— ロッコ・テサイ
- CS ——— カムデン・スチュワート
- TF ——— タイグ・フィッツジェラルド
- AM ——— アレクサンダー・モントーロ
- KS ——— 忍久保 洸司
- BW ——— ベンジャミン・ウィーヴィル
- NP ——— ニオ・パーソン
- LB ——— リオ・パロン
- PK ——— ピーター・キールティ
- OWR — オリヴァー・ワット=ロドリゲス
- BB ——— ベネディクト・バイウォーター
- DW ——— ダニエル・ホワイ

@Nichkhun_s2

自分を動物に例えるなら？

- ナマケモノ：一日中寝ていられる (AMen)
- クジラ：食物連鎖の頂点だから (OWR)
- クマ：素敵な毛皮を持ち主だから (NP)
- トラ：お肉を沢山食べられる (BB)
- ネッシー：旅行者を怖がらせたい (AM)
- マンテロープ：足が速いから (DW)

@aLoverOfLibera

習っている楽器はありますか？

- 6人が答えてくれました：
- ピアノ、サックス、クラリネット、ウクレレ、
- オーボエ、コントラバス、トランペット、ドラム、
- グロッケン

@LiberaTaisuke

将来の夢はなんですか？

- 作家 (BW)
- 音楽家 (TF)
- 弁護士 (BB)
- 有名なラグビー選手 (OWR)
- 実験物理学者 (NP)
- ロイズ銀行の社長 (AMen)
- エレクトロニック・スポーツの選手 (AM)
- 弁護士 (PK)
- 有名人 (LB)

ニックネームYumiko

"リベラ"のメンバーになって良かったと思う事を教えてください。

- 8人が答えてくれました：
- 歌うこと、それを大勢の人々に届けられること、
- ハーモニーを作ること、友だちと一緒に
- 世界を旅できること、日本に行けること

@Lil_Mama_Norico

好きな教科は何ですか？

- ほとんど全員の回答：体育！

@you2yoo64

休日は何してる？

スキューバ・ダイビング (AMen)
のんびり (TF)
セーリングしたり、スペインに行ったり (OWR)
ギリシャへ行って、ママがギリシャ語を話してる
のを聞く (LB)
レイブ (音楽イベント) (AM)
プールに飛び込んで周りを水びたしにする (DW)

ニックネーム AINO

ロンドンでオススメの場所はどこですか？

ロンドン・アイ (AM, DW)
ロンドン自然史博物館 (NP)
ザ・シャード (BB)
ピザ・ブリクストン (Pizza Brixton) (TF)
ロンドンを自転車で探検する (LB)
レスター・スクウェア (PK)

@LOVE_Libera

ツアーで各国に行くときに、家から絶対に 持っていく必需品はありますか？

ヘッドフォン (KS)
ハチミツのタブレットを、喉のために (LB)
サングラス (BW)
iPod (TF & BB)
白のローブ (OWR)
僕のお気に入りのブランケット (AMen)
スーツケース (AM)
僕のテディ・ベアのファーガス (DW)

運営編

@kMA55LrEPnETjUD

白いローブのサイズはいくつあるんですか？

沢山ありすぎて数えられない！洗濯するにも
多くて大変です。

リベラのオーディションは何歳から受けられ ますか？

6歳からです。平均では7～8歳ですね。

@maiii80644595

日本ツアーで1番楽しみにしていることは なんですか？

8人が答えてくれました：
心から歓迎してもらえること、フレンドリーな
人々、食べ物。そしてみんなが、ロンドンよりも
礼儀正しいんだ。

ニックネーム Mayu

リベラで歌を歌う時に大切にしていること や特に気をつけていることは何ですか？

間違った音を歌わないように (PK)
笑顔。笑顔が良いサウンドを作ってくれる (LB)
時差ボケでも、猫背になったりバタバタ動いた
りしないように (BB)
目線を上げる (OWR)
ブレス・コントロール (NP)
聴くこと (TF & BW)
緊張に負けないこと (DW)

@rXjvBXFIY9GWe1n

好きなスポーツは何ですか？

ラグビーとサッカーが一番人気でした。次い
で、テニスと水泳。

@libera_lcy

日本公演で楽しみにしていることはなんです か？ 😊

なにもかも…短いツアー中に楽しめるものは
全部です。味噌汁、カレーライス、寿司、ぶど
う味のお菓子。USJ。日本の文房具はイギ
リスでは買えないし、本当に素晴らしいです。

リベラの曲は最大で何重唱をしていますか？ (他の少年合唱と比べて圧倒的な多重ハー モニーなので)

ほとんどの曲は5つのパートに分かれていま
す。ものによっては7～8の曲もあります(もっ
と大きなお兄さんたちと一緒に歌のときは、
低音が加わるのでさらに増えます)。メンバー
は主旋律以外を沢山練習しているのです。

リベラは、今年で結成20周年を迎えた。ラテン語で“自由”を意味するグループ名のもと、時代が刻々と変化する中で、人の心に優しく寄り添う音楽を生み続けてきた。洗練されていると同時に、懐かしさを感じさせるサウンド。リベラの創設者でプロデューサーのロバート・プライズマン氏は、安らぎや活力といった、人が普遍的に音楽に求める要素を大切にしながら、より多くの人にリベラの音を届けるべく、新しい試みを重ね、音楽を磨いてきた。

リベラは1984年に発足したセント・フィリップス少年聖歌隊を前身とし、1998年に結成された。メンバーは、オーディションで選ばれた、イギリス、サウスロンドンで暮らす7歳から16歳までの少年たち。彼らの歌唱は独特の方法でトレーニングされているため、一般的な少年合唱団や聖歌隊とは質が少し違う。また、聖歌や民謡からオリジナル曲まで、幅広い音楽が、現代に生きる私たちになじみやすいアレンジとともに歌われることも特徴となっている。

時代が求めるものを鋭敏に感じ取り、音楽を変容させてきたプライズマン氏が今年の公演で届けるのは、時も空間も超え、多くの人類に愛されることを目指した、“超越的”な音楽だ。

特に、この秋リリースされた新譜「Beyond」にも収録されている新アレンジの楽曲では、これまでのリベラのサウンドともまた少し違う、クラシカルで新鮮な響きを耳にできる。リベラが長きにわたって歌い継いできたスタンダードナンバーにも、新メンバーの歌唱、新しいアレンジで新たな生命が与えられている。響きがとにかく柔らかく、聴いていると少しずつ現実と夢の境目もあいまいとなり、身が軽くなるような感覚に導かれる。

今回の公演プログラムのうち新曲は、「楽園にて In paradisum」と、人気音楽プロデューサー、亀田誠治氏作詞・作曲・プロデュースによる「明日へ～for the future」。なかでも「明日へ」のほうは、リベラにとって初めての日本語歌詞による楽曲となる。

2016年、浅田真央プロデュース版「ジュピター」で、リベラが、浅田真央氏作詞による一節の日本語歌詞を歌ったことを記憶するファンの方も多いだろう。今回は、文字通り国境や言葉の壁を超え、自分たちの音楽について、より多くの日本のファンに共感してほしいという思いから、全編を日本語で歌うという一つ上のステップに踏み出したことになる。前回に引き続き、今回の来日の顔ぶれにも入っているリベラ初の日本人メンバーの存在も、こうした新しいチャレンジの後押しとなっているようだ。

あらゆる隔たりを超越し、全地球の人々に向けて放たれる今年のリベラのサウンドには、今まで以上の優しさとしなやかさがある。天上から軽やかに舞い落ちる羽根のような歌声を、しっかりと受け止めたい。

PROGRAMME NOTES

Joyful Joyful ジョイフル・ジョイフル

ベートーヴェンの交響曲第9番終楽章の「歓喜の歌」のメロディに、1907年、アメリカの著述家であり聖職者であるヘンリー・ヴァン・ダイクが新しい詩をつけた讃美歌。

The Prayer 祈り

デイヴィッド・フォスター作曲、キャロル・ベイヤー・セイガー作詞による楽曲。愛に包まれた穏や

かで幸せな暮らしを祈る言葉が、優しいメロディに乗せて歌われる。

Ave Maria アヴェ・マリア (カッチーニ)

ルネサンス後期～バロック初期のイタリアの作曲家、ジュリオ・カッチーニによる作品として親しまれてきたが、実際は、20世紀ロシアの作曲家、ウラディーミル・ヴァヴィロフが作者不詳として発表したもの。聖母マリアに祈りを捧げる賛美歌。

Stay with Me ステイ・ウィズ・ミー

ロバート・プライズマンの作詞・作曲による、リベラの代表作のひとつ。リベラらしい明るく澄んだサウンドにのせて、いつも変わらず自らのそばにいてくれる神を讃える。

Ave Maria アヴェ・マリア (プライズマン)

リベラが長年歌い続けてきたレパートリー。聖母マリアを讃える伝統的な詩句が、ロバート・プライズマン作曲の安らかなメロディにのせて歌われる。

Amazing Grace アメイジング・グレイス

18世紀イギリスの牧師、ジョン・ニュートン作詞による讃美歌で、作曲者は不明。無償の愛を与えてくれる神への感謝の心を歌う。

In Paradisum 楽園にて

アルバム「Beyond」にも収録されている新曲。ベン・ロビンスが作曲を手がけた。現世を超越した楽園で天使に導かれる幸せを歌い上げる。

For the Future 明日へ～for the future

亀田誠治作詞・作曲・プロデュース。リベラにとって初めての、日本語歌詞による楽曲。間奏中には、フランス語、イタリア語、ポーランド語、スペイン語と、リベラのメンバーの出身国の言語による「For The Future」という言葉が歌われる。アルバム「Beyond」では、日本盤のボーナストラックとして収録。

Voca Me ヴォーカ・メ

ロバート・プライズマン作曲による、リベラが発足当初から歌い続けてきた楽曲のひとつ。無伴奏の合唱とソプラノのソロによる印象的な音楽で幕をあける。リベラの楽曲のなかでも、ひときわ神聖な空気を漂わせる作品。

Orinoco Flow オリノコ・フロウ

アイルランドのミュージシャン、エンヤの楽曲で、1988年リリースのアルバム「ウォーターマーク」に収録。オリノコ・フロウとは、南米のベネズエラとコロンビアを流れるオリノコ川の流れのこと。あらゆる地をめぐる航海を歌う。

I am the Day 生まれくる日

こちらもリベラが発足当初から歌い続けてきた楽曲で、ロバート・プライズマン作詞・作曲。生まれ来る日が歩み寄るさまを感じさせる、神秘的な和音にはじまり、輝かしい聖なる光を祝福するような響きが広がる。

From a Distance フロム・ア・ディスタンス

アメリカのシンガーソングライター、ジュリー・ゴールドが書き、ナンシー・グリフィスやベット・ミドラーなど多くの歌手が歌って人気となった楽曲。特に湾岸戦争の起きた1990年ごろには、平和を祈る歌として広く愛された。

Wayfaring Stranger さすらいの旅人

19世紀初期に生まれた、さすらい旅人の哀しみを歌うアメリカ民謡。重厚な響きが、さすらい人の力強くも孤独な歩みと、望郷の思いを表現するよう。

Angel 天使のくれた奇跡

ロバート・プライズマンが信頼を寄せる作曲家、村松崇継が作曲。2011年より「ユニバーサル・ワンダー・クリスマス」のCMにリベラを起用してきたユニバーサル・スタジオ・ジャパンが、2015年、ナイトショーの一新にあわせて新たに制作を依頼した、タイアップ楽曲。

Sanctus サンクトゥス (パッヘルベルのカノン)

ドイツ・バロック時代の作曲家、ヨハン・パッヘルベルのカノンのメロディによる楽曲。澄み切った“聖なるかな”の歌声に始まる。

Salva Me サルヴァ・メ

ロバート・プライズマン作詞・作曲による楽曲。伸びやかで訴えかけるようなメロディとともに、神への救いと自由を求める。2001年に放送されたNHKドラマ「ある日、嵐のように」主題歌として使用された。

Eternal Light エターナル・ライト

千住明作曲、テリー・コックス作詞による楽曲で、「大塚製薬 上海万博テーマ曲」。東日本大震災直後の2011年4月3日、震災後初めてのサントリーホールでのコンサートとなった千住明「個展コンサート」でも、被災地に捧げる楽曲のひとつとして演奏された。

Libera リベラ

自由という名を持つリベラのテーマ曲ともいえる1曲。ロバート・プライズマンが作詞作曲を手がけた。高らかに歌いあげるソプラノにはじまり、力強く澄んだ歌声で、神への救いを求める。









Music Director - Robert Prizeman
Assistant musical directors - Sam Coates & Steven Geraghty

Libera instrumentalists:

Flute & pipes - Eimear McGeown
Piano/Keyboards - Simon Beston
Percussion - Jon Ormston
1st Vn - Yuma Ito
2nd Vn - Matsuri Mikuni
Va - Akira Ii
Vc - Ryota Takusagawa
Cb - Kento Takasugi
Cl - Kimio Yamane
Ob - Ayaka Mori
Hr - Yoshiyuki Tsukihara

Hideaki Hirai
Arioso Children's Choir

Sound mixing & production - Sam Coates
Lighting - Luke Avery
Stage management - Matthew Jansen

Stage direction - Steven Geraghty

Libera co-ordination & chaperones - Eleanor Lewis & Barbara Geraghty





Stage Manager:
Art Creation Jun Kabakura

Assistant Stage Manager:
Itaru Miyake

Lighting:
Gekikousya

Sound:
Hibino

Interpreter:
Sonoko Ishii

明日へ ～for the future

作詞・作曲・プロデュース: 亀田誠治
編曲: ロバート・プライズマン

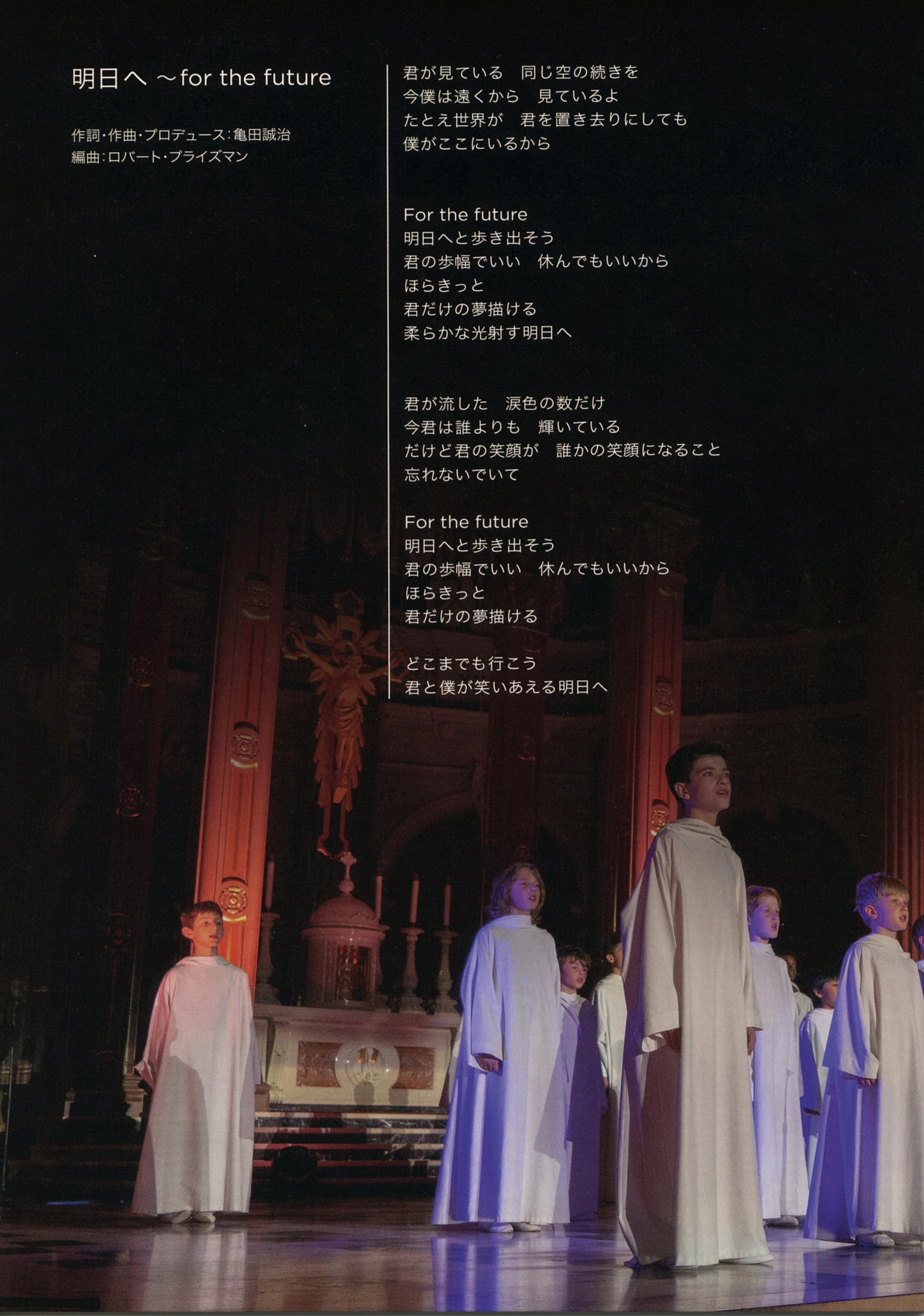
君が見ている 同じ空の続きを
今僕は遠くから 見ているよ
たとえ世界が 君を置き去りにしても
僕がここにいるから

For the future
明日へと歩き出そう
君の歩幅でいい 休んでもいいから
ほらきっと
君だけの夢描ける
柔らかな光射す明日へ

君が流した 涙色の数だけ
今君は誰よりも 輝いている
だけど君の笑顔が 誰かの笑顔になること
忘れないでいて

For the future
明日へと歩き出そう
君の歩幅でいい 休んでもいいから
ほらきっと
君だけの夢描ける

どこまでも行こう
君と僕が笑いあえる明日へ



初めてLIBERAの歌に出会った時、その透き通る純粋な歌声に思わず涙が止まらなかったのを覚えています。彼らの歌なら世界を優しく繋ぐことができるのではないかと思います。

音楽には、国境や言葉を超えて人々の心の奥まで届きます。それでも今この時代に、一人でも多くの人に優しい気持ちになって貰いたいと思い、この度僕はLIBERAが日本語で歌う「明日へ～for the future」を書かせていただきました。”みんな一人じゃないよ。遠く離れていても僕らは繋がっている”という風に毎日を精一杯生きる人たちの背中をそっと押してくれる歌です。少年たちは本国イギリスで、歌詞に込められた意味を確かめながら、

一生懸命日本語の発音の練習をしたそうです。

出来上がった「明日へ～for the future」は、LIBERAの世界観そのもの。賛美歌のように僕らの人生を祝福し、僕らの未来を讃えてくれます。間奏で聞こえるのはイタリア語、スペイン語、ポーランド語、フランス語で、LIBERAのメンバーの出身国の「明日へ～for the future」という言葉です。こんなグローバルな共生と感動を瞬時に起こせてしまうのが音楽の魔法ではないでしょうか。

LIBERA「明日へ～for the future」。2018年秋、愛と勇気と優しさを僕らに届けてくれる美しい歌が生まれました。LIBERAの歌が東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向かって日本と世界をつなぐ架け橋になることを願っています。

亀田誠治



LIBERA誕生から20年。

歌い継がれるリベラのスタンダードナンバーは、時代とともに進化し続ける。
時も国境も超えて届いたLIBERAからの贈り物。

Beyond/LIBERA

空高く舞い、海も山も、国境も越えてゆく。時間さえも超越して、
永遠に漂い続ける。

結成20年を迎えたリベラの新譜「Beyond」に収められたサウンドには、そんな時空を越えた存在を思わせるような、今までにない軽やかさとしなやかさがある。聴いていると身が軽くなり、現実と夢の世界の境目も越えてしまいそうな感覚に導かれる。亀田誠治氏作詞・作曲・プロデュースによる「明日へ～for the future」は、リベラにとって初めての、日本語歌詞による楽曲となった。さまざまな想いを抱えながら生きる私たちに寄り添い、背中を押してくれる。一人一人の人生への賛歌だ。

高坂はる香(ライナーノーツより)

亀田誠治プロデュース
リベラが初めて全編日本語で贈る
「明日へ～for the future」収録。

●CD

アヴェ・マリア(カッチーニ)&(プライズマン) / 楽園にて(ベン・ロビンス)

サルヴェ・レジナ(シューベルト) / サンクトゥス(パッヘルベル)

涙の日(サン＝サーンス) / ヴォーカ・メ(プライズマン)

祈り(ディヴィッド・フォスター)

いつもあなたのそばにいるから(千の風になって)(プライズマン)

ベネディクトゥス・デウス(マーク・マッケンジー) / マリア(タヴナー)

<Special Track>

明日へ～for the future

作曲・作詞・プロデュース: 亀田誠治 編曲: ロバート・プライズマン

●DVD(通常盤)

涙の日/楽園にてMusic Video

2018年9月19日(水) 10:00より、
待望のリベラオフィシャルファンクラブ
「from LIBERA, from LONDON」が発足！
ロンドンと日本をつなぎ、いつもリベラを身近に感じられるそんなファンクラブです！

ファンクラブに入会するともらえる特典！

- 01 入会記念品メンバーズカード
- 02 イヤーブック進呈(リベラの1年を毎年写真集にしてお届けします。)
- 03 継続特典 新デザインメンバーズカード(毎年異なるデザインになります。)

会員限定サイトでリベラがもっと身近に！

#ロンドンから届くビデオレター #密着MOVIEなど #オフショット写真など
#Q&Aコーナー: 皆さんからの質問にリベラメンバーがお答えします

<SPECIAL>

#来日公演チケット先行発売 #プレゼント応募など
#ファンクラブ限定グッズ #メルマガ/バースデーメッセージ など。

詳細は、下記サイトをご覧ください！
<https://liberafc.jp/>
(運営: ソニー・ミュージックマーケティング)



通常盤 [CD+DVD] LIBE-09-10



ファンクラブ限定盤 [CD] LIBE-11
CD+豪華ブックレット(リベラの写真満載オールカラー 36ページ)
ファンクラブ会員の方のみご購入いただけます。

2018年10月17日リリース

通常盤

[CD+DVD] LIBE-09-10 CD+DVD ¥3,000+税

ファンクラブ限定盤

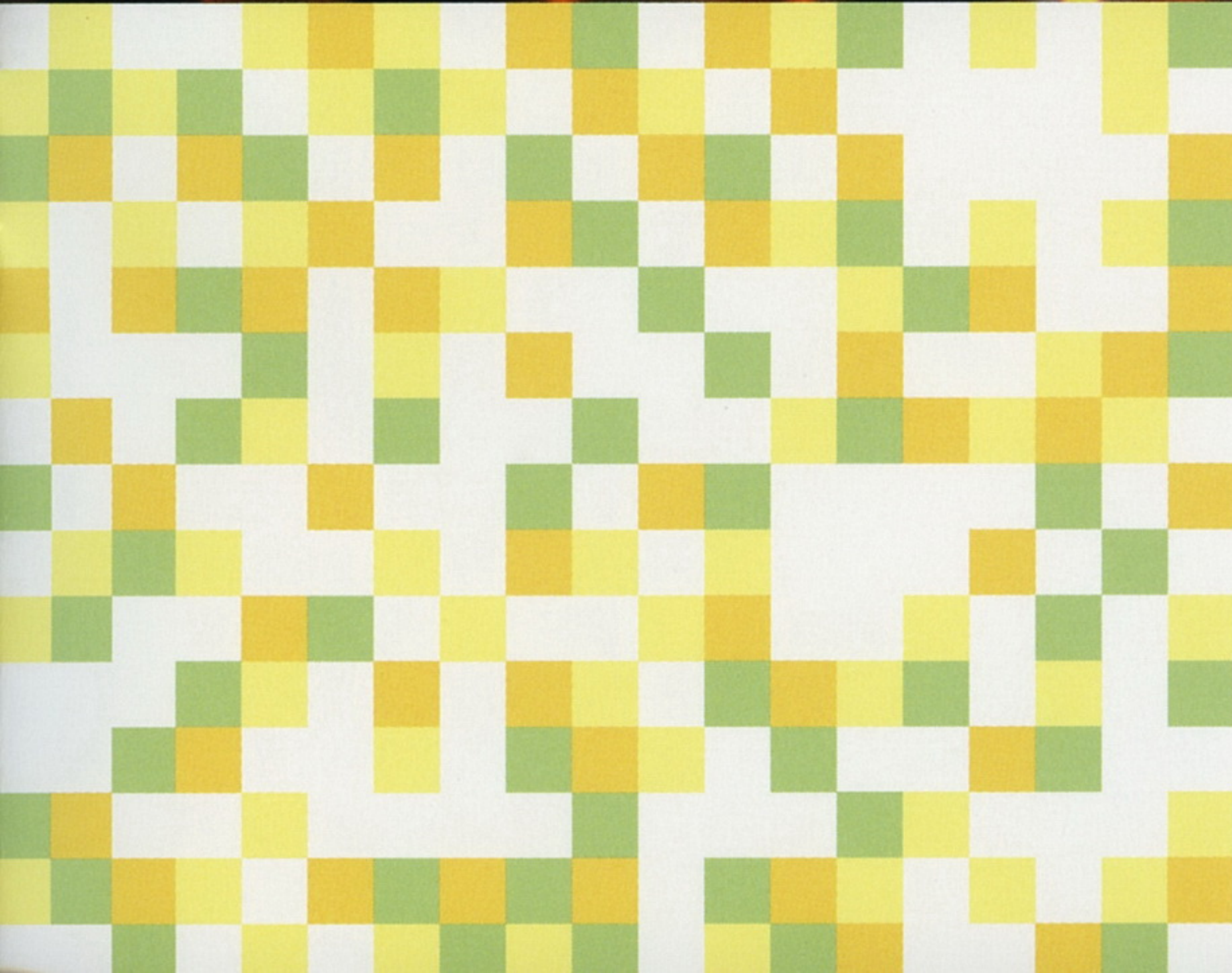
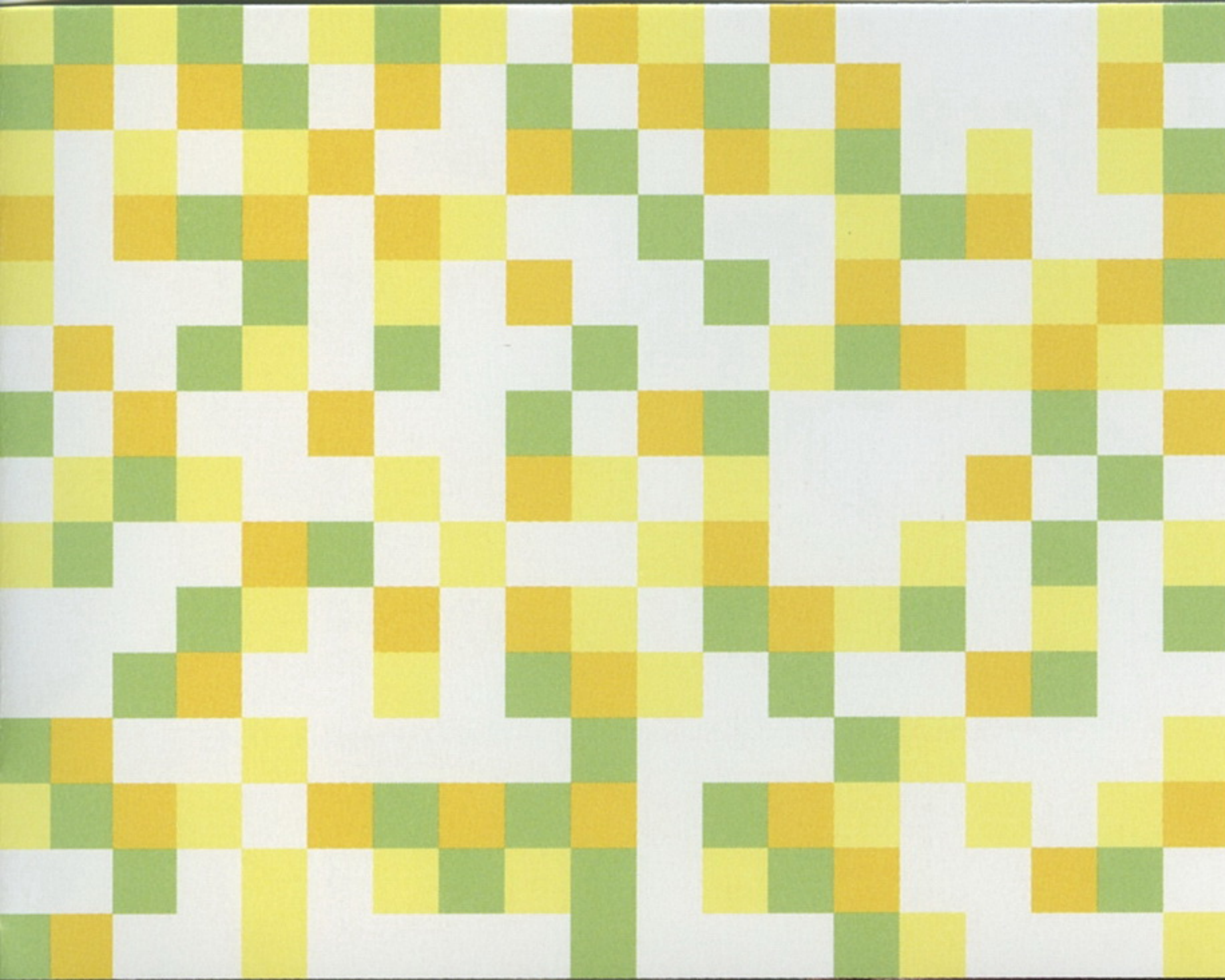
[CD] LIBE-11 CD ¥3,000+税

制作・発売: Libera Records / ウィステリアプロジェクト

販売: ソニー・ミュージックマーケティング

<http://libera-records.com>

LIBERA RECORDS



LIBERA

Angel Voices Tour 2018
“beyond”

